

第6回 婚礼に関するアンケート調査

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会

はじめに

結婚する二人に対して周囲が種々の形で祝福することは自然な感情、行為であり、その一つとして、かつては新婚生活に必要な品物などを贈ることが一般的でしたが、現在ではお祝いとして《現金を贈る》ことが主流となっています。それでも陰陽五行説の影響なのか、ハレの場に現金を包む場合は陽数（奇数）としていますが、ただ「9」だけは“苦”に通じることから避けるなど、さまざまな習俗が色濃く残っているようです。

一方、贈る際の金額の多寡ですが、贈る人と贈られる人との関係により異なってくるのは当然とはいえ、具体的にはどれ位の金額が相応なのかということが多くの人々の関心事になっているのも事実です。また、同じ立場であっても地域によって金額に差があるのだろうか、ということも気になるのではないかと考えられます。

当協会には、割賦販売法に基づいて経済産業大臣から営業を許可された「冠婚葬祭互助会」事業者約203社が加盟しており、加入者及び各地域の消費者の皆様方より“結婚式”に利用して頂く施設として、北海道から沖縄に至るまで、結婚式場、ホテル、チャペルなどを数多く保有しています。

そこで、当協会では、傘下の結婚式場で行われた結婚式・披露宴のご参列者、ご出席者の皆様方をお願いをして、平成9年度より5年毎に「祝儀」についてのアンケート調査を行っており、このたび第6回目の調査を取りまとめることができました。

本調査が皆様方の儀式を取り巻く生活の中において、お役に立てば幸いです。

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
広報・渉外委員会

I. 調査概要

- (1) 調査目的 国民の儀式生活に関する意識調査・基礎資料の収集
- (2) 調査対象 ①全互協に加盟する冠婚葬祭互助会が直営する施設で行われた披露宴の出席者
②インターネットアンケートモニター
- (3) 調査方法 ①披露宴会場において、出席者にアンケート票を配布
ハガキもしくは専用のアンケート回答画面（Web）で回答
②インターネットアンケート
ここ1年の間に結婚式に参加したことがある人が回答者条件
- (4) 調査期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日
- (5) 配布部数 披露宴会場でのアンケート票配布分 80,000部
- (6) 回答数 3,178件 （有効回答数：3,137件）

配布したアンケート票の内容

『アンケート調査』ご協力をお願い

私どもは昭和48年、利益を目的としない公益法人として経済産業大臣の認可の基に設立された全国的な組織を持つ団体で各地の冠婚葬祭互助会事業者によって構成されています。

事業内容は消費者保護体制の整備、加盟業者の指導育成、行政への協力等多岐にわたっておりますが、その一貫として「国民の儀式生活に関する基礎資料の収集」をあげており、今年度は別記のように婚礼に関するアンケート調査をする事といたしました。本調査は平成9年より5年おきに実施しており、今回で6回目の調査となるものです。

つきましては、ご多忙中のところ勝手なお願いで恐縮ですが、別記項目にご回答のうえ、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

- ※ご回答はアンケート調査以外には使用いたしません
 - ※お手数ですが令和6年3月末日までにご投函ください
 - ※右記のQRコードからも、ご回答いただけます。
- 所要時間は約2分です。



なお、ご協力を賜りました調査結果につきましては、令和6年より集計を行い、同8月頃、全国各地の消費者センター及び行政の消費者相談窓口やマスコミ等に報告書を送付するとともに、当協会ホームページにおいて、公表する予定としております。

令和5年10月

一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-12COMS 虎ノ門6F
TEL:03-3596-0061(代)

令和5年度 婚礼に関するアンケート

該当するところを○印で囲み、空欄は回答をご記入ください

【1】あなたは、新郎のご関係ですか？新婦のご関係ですか？

- 1.新郎 2.新婦 3.両方

【2】あなたは、新郎又は新婦の何にあたりますか？

- 1.兄弟/姉妹 2.おじ/おば 3.従兄弟/従姉妹
4.上記以外の親戚 5.職場の上司 6.職場の同僚
7.職場の部下 8.取引先 9.友人 10.その他

【3】今回、あなたが贈った「祝儀」はいくらですか？

A. _____ 円

【4】あなたは、六曜（大安・友引・仏滅など）を気にしていますか？

- 1.気にする 2.あまり気にしない 3.全く気にしない

【5】あなたが希望する挙式形態は何ですか？

（既婚の方も現在の希望をお願い致します）

- 1.神前式 2.チャペル（キリスト教）式 3.無宗教式
4.その他

【6】あなたは、この1年間で何回挙式もしくは披露宴に参列されましたか？

- 1回 2回 3回以上

■ご回答いただきました「あなた」についてお尋ねします。

- 性別 ---- 男性 ・ 女性 ・ 答えたくない
お歳 ---- 20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
結婚 ---- 既婚/子どもあり・既婚/子どもなし・未婚
お住いの地区

都道 市区
府県 町村

ご協力ありがとうございました

Ⅱ. 調査対象者

冠婚葬祭に伴う儀式は、昔から地域のしきたりや慣習によって他の地域では見られない特色を育みながら受け継がれています。そうした背景から、地域性は祝儀の決定に大きく関わっていると考えられます。また、人は人生経験を積み重ねていくとともに、人間関係もより広く、より深くなることが考えられることから、日頃の付き合いや親しさの度合い、年齢なども祝儀の金額を決める重要な要素と言えます。

本調査は、地域や新郎新婦との関係、年齢などの視点から、祝儀の金額を集計することを試みています。

◆回答者の地域別内訳

全互協に加盟する互助会の結婚式場にアンケート票を送付し、新郎新婦の許可を得た披露宴会場で出席者にアンケート票を配布し回収、インターネットアンケートモニターに対するアンケート調査分を加え合計3,178件（有効回答数は3,137件）で集計しました。地域別の内訳は次のとおりです。この報告書では、アンケートの集計結果から地域性を出せるよう10地域に分けて集計しています。

[地域別回答件数割合]

【単位：件】

	北海道ブロック	計	東北ブロック	計	北関東ブロック	計	東京ブロック	計	南関東ブロック	計
都道府県名	北海道	89	青森県	20	茨城県	34	東京都	425	神奈川県	259
			岩手県	14	栃木県	28	山梨県	12	静岡県	125
			宮城県	43	群馬県	36				
			秋田県	17	埼玉県	158				
			山形県	21	千葉県	128				
			福島県	29	新潟県	63				
					長野県	35				
	計	89		144		482		437		384
	中部ブロック	計	近畿ブロック	計	中国ブロック	計	四国ブロック	計	九州ブロック	計
都道府県名	愛知県	193	大阪府	241	鳥取県	8	徳島県	14	福岡県	130
	三重県	114	兵庫県	172	島根県	11	愛媛県	66	佐賀県	13
	岐阜県	42	京都府	59	岡山県	64	香川県	26	長崎県	30
	富山県	14	福井県	23	広島県	77	高知県	6	熊本県	30
	石川県	25	和歌山県	16	山口県	21			大分県	40
			滋賀県	40					宮崎県	35
			奈良県	34					鹿児島県	21
									沖縄県	36
	計	388		585		181		112		335
	全体:3,137									

◆地域別回答件数割合

地域	件数	%
北海道	89	2.8
東北	144	4.6
北関東	482	15.4
東京	437	13.9
南関東	384	12.2
中部	388	12.4
近畿	585	18.6
中国	181	5.8
四国	112	3.6
九州	335	10.7
合計	3,137	100.0



◆新郎新婦との関係別回答数

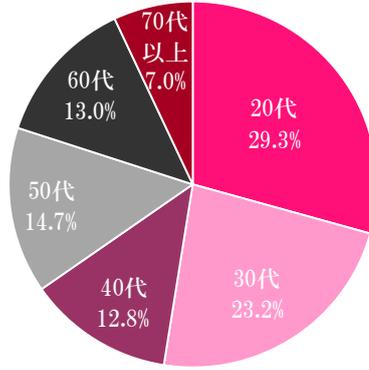
全回答を新郎新婦との関係別にまとめると、回答数は右表の通りです。

新郎新婦との関係	件数	%	新郎新婦との関係	件数	%
兄弟/姉妹	221	7.0	職場の部下	89	2.8
叔父/叔母	448	14.3	取引先	18	0.6
従兄弟/従姉妹	197	6.3	友人	1,200	38.3
上記以外の親戚	329	10.5	その他	197	6.3
職場の上司	163	5.2			
職場の同僚	275	8.8	合計	3,137	100.0

◆回答者の年齢構成

〔回答者の年齢構成割合〕

回答者の年齢構成を把握するため、アンケート調査票に、年代に関する設問を設け、各年代別に集計しています。年代別の回答数は、次のとおりです。



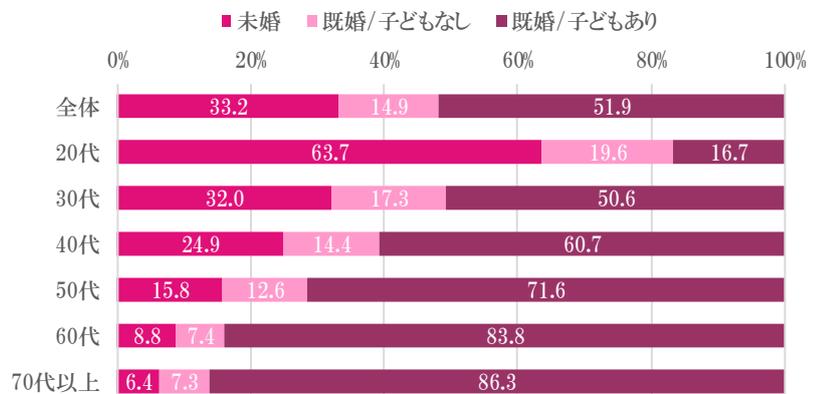
年代	件数	%
20代	920	29.3
30代	727	23.2
40代	402	12.8
50代	461	14.7
60代	408	13.0
70代以上	219	7.0
計	3,137	100.0

また、年代別で「既婚/子どもあり」、「既婚/子どもなし」、「未婚」の状況を集計すると、20代は未婚者が64%を占めています。一方で、30代は既婚者の割合が68%、40代は75%、50代は84%、60代は91%、70代以上は94%と年代が高くなるにつれて既婚者の割合が高く、特に、「既婚/子どもあり」の割合が高くなる傾向が見られます。

〔回答者の各年代別の既婚・未婚割合〕

【単位:人】

	合計	未婚	既婚/ 子どもなし	既婚/ 子どもあり
全体	3,137	1,042	468	1,627
20代	920	586	180	154
30代	727	233	126	368
40代	402	100	58	244
50代	461	73	58	330
60代	408	36	30	342
70代以上	219	14	16	189



◎前回調査(第5回婚礼に関するアンケート調査)について

1. 前回調査の概要

- 調査目的 国民の儀式生活に関する意識調査・基礎資料の収集
- 調査対象 全互協に加盟する冠婚葬祭互助会が直営する施設で行われた披露宴の出席者
- 調査方法 披露宴会場において、出席者にアンケート票を配布
- 調査期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日
- 配布部数 披露宴会場でのアンケート票配布分 80,000部
- 回答数 3,017件 (回収率: 3.8%)

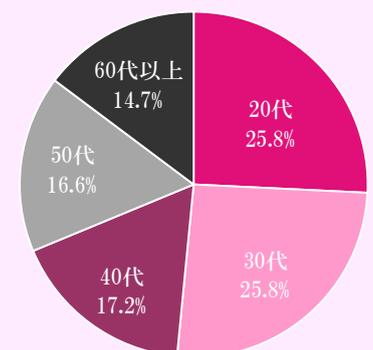
2. 前回調査の回答者属性

〔地域別の回答数内訳〕

【単位:人】

北海道	東北	北関東	東京	南関東	計
185	225	346	143	337	3,017
中部	近畿	中国	四国	九州	
313	462	148	119	739	

〔回答者の年齢構成割合〕



〔回答者と新郎・新婦との関係〕

新郎新婦との関係	件数	%	新郎新婦との関係	件数	%
兄弟/姉妹	185	6.1	職場の部下	120	4.0
叔父/叔母	488	16.2	取引先	27	0.9
従兄弟/従姉妹	198	6.6	友人	1,066	35.3
上記以外の親戚	157	5.2	その他	150	5.0
職場の上司	227	7.5			
職場の同僚	399	13.2	合計	3,017	100.0

Ⅲ. 集計結果

1. 祝儀の平均額と最多回答額

本調査は、挙式・披露宴に出席した方を対象としています。下表は、新郎新婦との関係ごとに祝儀の最多回答額と平均額を集計した結果です。最多回答額は、叔父叔母（5万円）、その他の親戚関係（10万円）を除いたすべてで、3万円が最も多くなっています。

親戚関係は、高額な祝儀を贈るケースも多く、平均額は高くなっています。

また、職場関係では同僚・上司とも最多回答額は3万円ですが、平均額は、職場の同僚が31,696円であるのに対して、職場の上司は37,505円で上司の祝儀額の方が高くなっています。親戚関係と同様に、職場の上司は、高額な祝儀を贈るケースもあることが伺えます。

祝儀の最多回答額について、前回調査（平成29年度）と今回調査を比較すると、兄弟／姉妹の最多回答額が5万円→3万円、上記以外（その他）の親戚が3万円→10万円となりましたが、それ以外では最多回答額は3万円と変わりませんでした。

新郎新婦との関係別祝儀額
（最多回答額／平均額）

【単位：円】

新郎新婦との関係	最多回答額	平均額
兄弟／姉妹	30,000	60,052
叔父／叔母	50,000	81,629
従兄弟／従姉妹	30,000	34,635
上記以外の親戚	100,000	117,568
職場の上司	30,000	37,505
職場の同僚	30,000	31,696
職場の部下	30,000	34,921
取引先	30,000	28,611
友人	30,000	30,960
その他	30,000	130,250
全体	30,000	56,299

新郎新婦との関係別祝儀額
（最多回答額の前回調査との比較）

【単位：円】

最多回答額の比較	平成29年	令和5年
兄弟／姉妹	50,000	30,000
叔父／叔母	50,000/100,000	50,000
従兄弟／従姉妹	30,000	30,000
上記以外の親戚	30,000	100,000
職場の上司	30,000	30,000
職場の同僚	30,000	30,000
職場の部下	30,000	30,000
取引先	30,000	30,000
友人	30,000	30,000
その他	30,000	30,000
全体	30,000	30,000

※前回調査の叔父・伯母の最多回答は、50,000円と100,000円が同票。

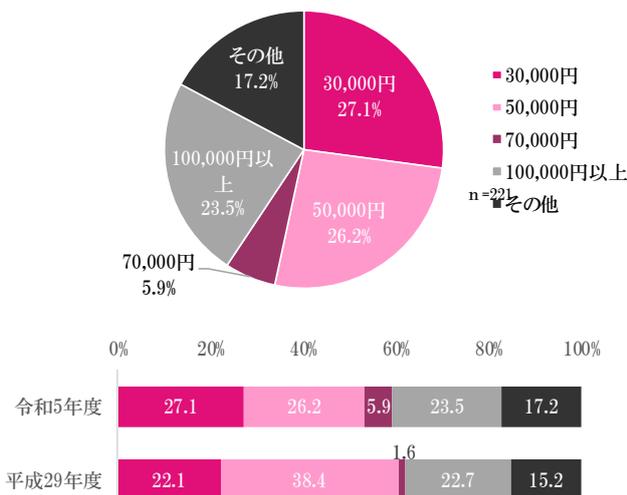
（1）新郎新婦との関係別の祝儀（回答別割合）

新郎新婦との関係別で贈った祝儀金額の回答割合をみると、「3万円」の占める割合は、友人、取引先、勤務先の同僚は80%以上、勤務先の部下が70%、上司が64%となっているなど、「3万円」の占める割合が大多数を占めています。一方で、親戚関係では、従兄弟・従姉妹（46%）、兄弟姉妹（27%）、「叔父・叔母」（13%）、その他の親戚（13%）となっており、祝儀の相場傾向が異なっていることがわかります。

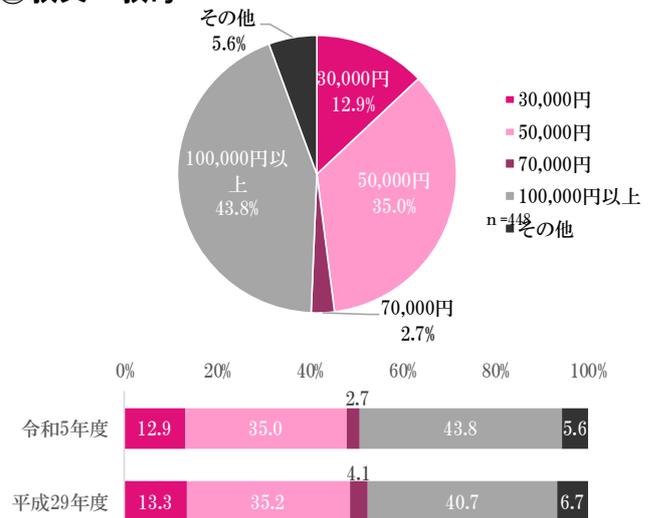
前回調査（平成29年度）と今回調査（令和5年度）を比較すると、兄弟姉妹は「5万円」の割合が38%→26%と12ポイント減少し、「7万円」（4ポイント増）と「3万円」（5ポイント増）がそれぞれ増加しました。一方で、その他の親戚は「10万円以上」の割合が37ポイント増、勤務先の上司は「5万円」が6ポイント増、勤務先の部下は「5万円」が14ポイント増と、「3万円」よりも大きな祝儀額の回答割合が高まっている傾向が見られます。

なお、回答者数が突出して多い友人関係は、「3万円」が83%と圧倒的な割合を占めている傾向に変化は見られませんでした。

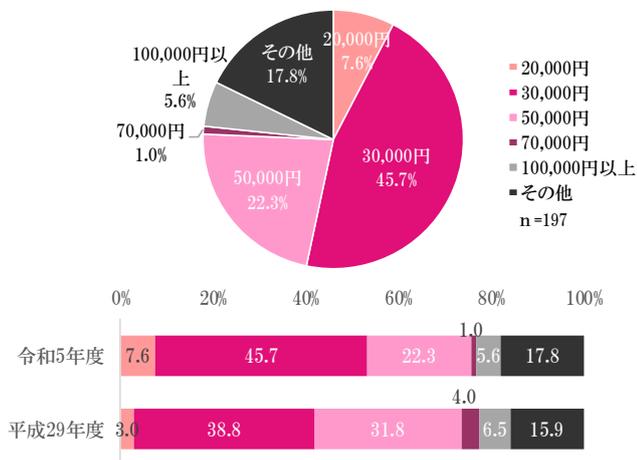
①兄弟姉妹



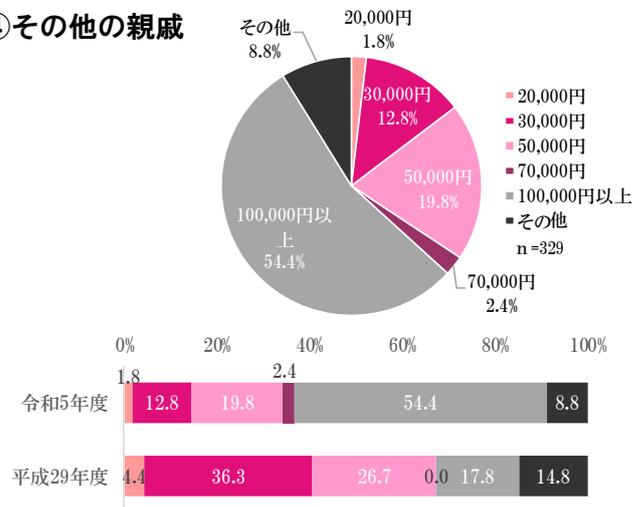
②叔父・叔母



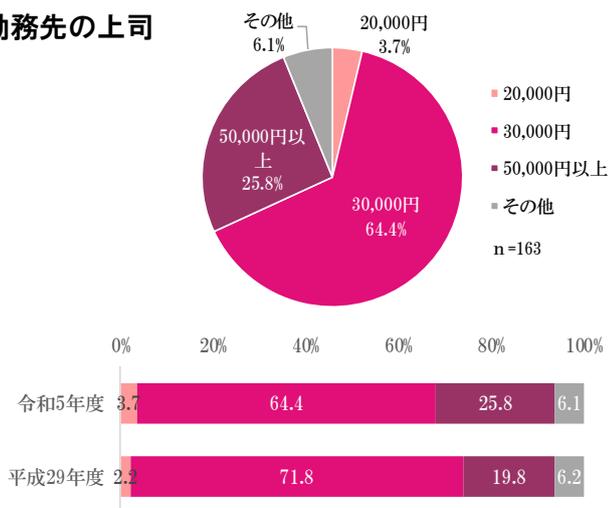
③従兄弟・従姉妹



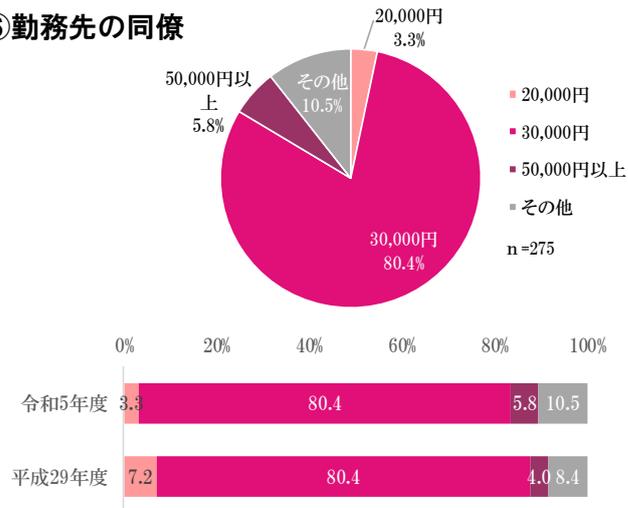
④その他の親戚



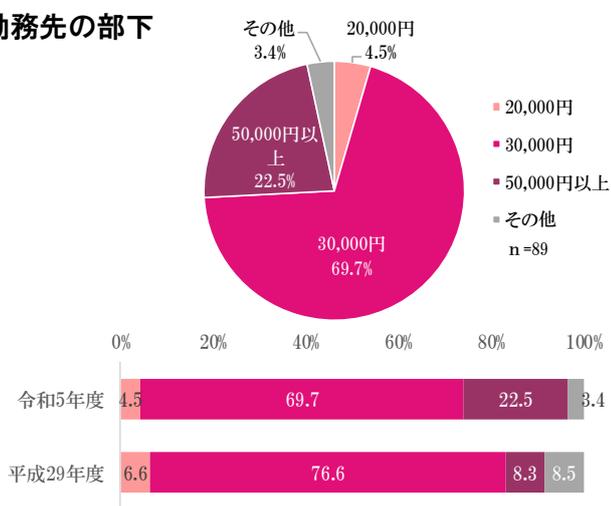
⑤勤務先の上司



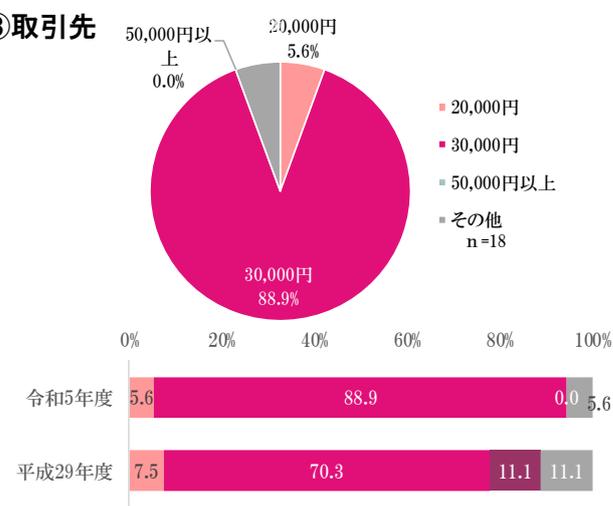
⑥勤務先の同僚



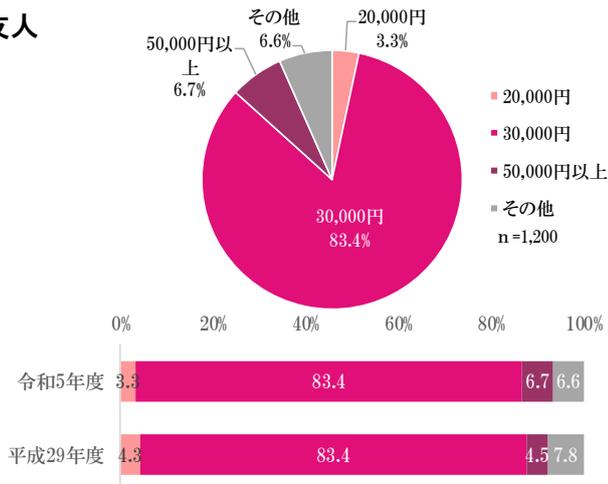
⑦勤務先の部下



⑧取引先



⑨友人



◎祝儀平均額(前回調査との比較)

[単位：円]

平均額の比較	平成29年	令和5年
兄弟／姉妹	54,676	60,052
叔父／叔母	72,711	81,629
従兄弟／従姉妹	39,434	34,635
上記以外の親戚	57,268	117,568
職場の上司	33,872	37,505
職場の同僚	28,424	31,696
職場の部下	28,925	34,921
取引先	28,333	28,611
友人	29,598	30,960
その他	89,280	130,250

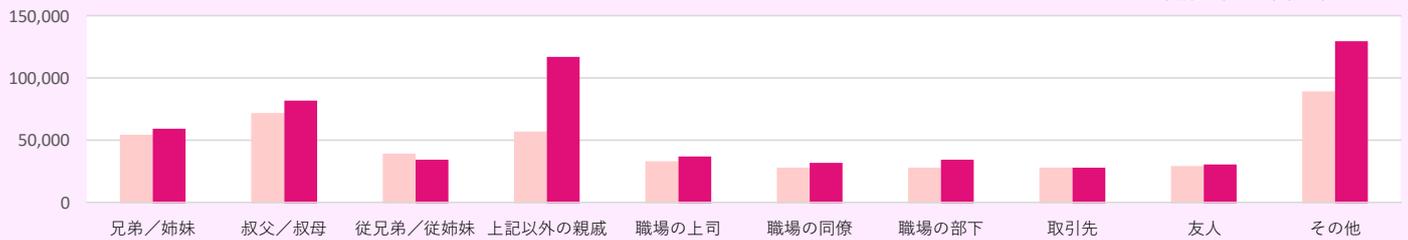
祝儀の平均金額について、前回調査（平成29年度）と今回調査（令和5年度）を比較すると、左表及び下のグラフの通りとなります。

前回調査と比較して、「上記以外の親戚」の平均額が60,300円ほど増加しています。これは今回調査で「上記以外の親戚」の回答者（329人）のうち、50万円以上の回答者が24人（うち100万円が3人）など高額な祝儀を贈った人の影響が大きいと考えられます。

また、その他の関係でみると、従兄弟／従姉妹以外のすべてで祝儀の平均額が増加しています。

新郎新婦との関係別祝儀の平均額（前回調査との比較）

[単位：円]



(2) 地域別の祝儀（最多回答額と平均額）

下表は、地域別・新郎新婦との関係別の祝儀の最多回答額と平均額です。

各地域とも全体の最多回答額は3万円となっており差がありません。また、職場関係、友人などの最多回答額は会費制が多い北海道の職場の同僚・部下や取引先以外は、各地域とも3万円となっています。一方で、兄弟/姉妹や叔父/叔母など親戚関係の最多回答額は地域によってバラつきが見られます。親戚関係の場合、関係の親密度や参列人数（夫婦か1人かなど）によって祝儀額に差が生じているものと考えられます。

平均額については、地域別・新郎新婦との関係別で差が見られます。この差の要因の1つとして、回答数（サンプル数）が少ない場合、1人が高額な祝儀を贈った場合、平均額に大きく影響することが考えられます。

[単位：円]

	北海道			東北			北関東			東京			南関東			中部		
	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額
兄弟／姉妹	9	10,000/30,000/50,000	33,333	13	10,000/20,000	36,154	46	30,000	98,696	20	50,000	43,500	25	100,000	61,320	27	30,000	43,444
叔父／叔母	11	30,000	62,727	17	50,000/100,000	62,941	63	50,000	85,635	55	50,000	64,546	54	50,000	95,370	62	100,000	86,111
従兄弟／従姉妹	4	20,000	12,500	12	30,000	21,250	30	30,000	36,433	33	30,000	29,697	26	30,000	31,538	28	30,000	41,071
上記以外の親戚	10	30,000/50,000	75,000	14	50,000	47,857	50	100,000	134,900	41	100,000	113,902	41	100,000	106,098	36	100,000	127,500
職場の上司	1	30,000	30,000	7	30,000	25,000	23	30,000	35,217	20	30,000	41,167	28	30,000	49,107	19	30,000	35,789
職場の同僚	8	10,000	19,125	18	30,000	26,833	47	30,000	32,199	34	30,000	29,559	29	30,000	27,690	34	30,000	37,441
職場の部下	2	20,000	19,000	6	30,000	45,000	9	30,000	36,667	11	30,000	39,091	12	30,000	35,000	5	30,000	38,000
取引先	1	15,000	15,000	1	30,000	30,000	2	30,000	30,000	3	30,000	30,000	1	30,000	30,000	2	20,000/30,000	25,000
友人	32	30,000	24,438	46	30,000	33,587	181	30,000	30,552	203	30,000	31,881	142	30,000	29,292	153	30,000	31,046
その他	11	0/30,000/100,000	206,364	10	30,000	51,322	31	100,000	125,162	17	30,000	109,118	26	30,000	170,769	22	30,000	95,227
計	89	30,000	57,056	144	30,000	38,064	482	30,000	62,026	437	30,000	47,472	384	30,000	60,105	388	30,000	54,871

	近畿			中国			四国			九州			全国		
	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額
兄弟／姉妹	38	30,000/50,000	46,895	15	30,000	57,333	6	100,000	63,917	22	50,000	61,818	221	30,000	60,052
叔父／叔母	101	100,000	86,942	23	50,000/100,000	84,783	14	100,000	82,857	48	100,000	72,604	448	50,000	81,629
従兄弟／従姉妹	28	30,000	40,536	9	30,000	46,667	4	30,000/50,000	40,000	23	30,000	33,043	197	30,000	34,635
上記以外の親戚	79	100,000	139,177	16	100,000	101,250	17	100,000	97,647	25	100,000	105,200	329	100,000	117,568
職場の上司	19	30,000	34,211	9	30,000	47,778	12	30,000	27,500	25	30,000	32,400	163	30,000	37,505
職場の同僚	43	30,000	40,721	15	30,000	30,000	8	30,000	30,000	39	30,000	26,795	275	30,000	31,696
職場の部下	18	30,000	31,667	9	30,000	32,222	5	30,000	28,000	12	30,000	35,833	89	30,000	34,921
取引先	3	30,000	30,000	0	-	-	0	-	-	5	30,000	30,000	18	30,000	28,611
友人	227	30,000	31,678	64	30,000	30,703	38	30,000	30,789	114	30,000	31,474	1200	30,000	30,960
その他	29	30,000	126,207	21	30,000/100,000	141,905	8	30,000	132,500	22	10,000/30,000	132,091	197	30,000	130,250
計	585	30,000	62,573	181	30,000	60,580	112	30,000	56,281	335	30,000	51,236	3137	30,000	56,299

※複数の金額が記載されている場合は同票の場合です。

※「-」は該当するサンプルが得られなかったため集計しておりません。

※「上記以外の親戚」には親を含む場合があります。

◎祝儀平均額(前回調査との比較)

地域別・新郎新婦との関係別の祝儀平均額について、前回調査(平成29年)と今回調査(令和5年)を比較すると下表の通りとなります。北海道は、すべての新郎新婦との関係において平均額が前回調査よりも高くなっています。また、近畿は兄弟姉妹、友人以外は前回調査よりも祝儀額の平均が高くなっています。地域別・新郎新婦との関係別の回答者数が30人以上の関係に限定してみると、東京は叔父/叔母、従兄弟/従姉妹の平均額が前回調査よりも1万円以上も減少しています。一方、近畿はその他の親戚(約7万円増)、職場の同僚(約1万円増)の平均額が大きく増加しています。

[単位:円]

	北海道		東北		北関東		東京		南関東		中部	
	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年
兄弟/姉妹	30,833	33,333	44,167	36,154	64,000	98,696	40,000	43,500	75,000	61,320	60,000	43,444
叔父/叔母	34,286	62,727	59,118	62,941	89,500	85,635	81,538	64,546	65,465	95,370	88,919	86,111
従兄弟/従姉妹	8,000	12,500	50,615	21,250	39,130	36,433	40,769	29,697	37,647	31,538	37,500	41,071
上記以外の親戚	32,684	75,000	45,556	47,857	42,500	134,900	32,500	113,902	56,875	106,098	117,333	127,500
職場の上司	11,583	30,000	31,818	25,000	33,704	35,217	42,222	41,167	33,529	49,107	36,667	35,789
職場の同僚	7,381	19,125	26,108	26,833	31,182	32,199	31,176	29,559	32,308	27,690	29,861	37,441
職場の部下	5,250	19,000	28,571	45,000	27,778	36,667	32,500	39,091	31,429	35,000	31,333	38,000
取引先	-	15,000	-	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	36,667	30,000	43,333	25,000
友人	11,397	24,438	27,457	33,587	30,390	30,552	31,644	31,881	28,956	29,292	29,310	31,046
その他	12,895	206,364	57,083	51,322	44,750	125,162	343,333	109,118	200,625	170,769	20,769	95,227

	近畿		中国		四国		九州		全体	
	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年
兄弟/姉妹	52,340	46,895	36,000	57,333	50,000	63,917	61,463	61,818	51,380	60,052
叔父/叔母	81,205	86,942	83,158	84,783	91,429	82,857	65,745	72,604	74,036	81,629
従兄弟/従姉妹	38,750	40,536	40,500	46,667	30,000	40,000	46,170	33,043	36,908	34,635
上記以外の親戚	62,941	139,177	117,143	101,250	76,667	97,647	40,588	105,200	62,479	117,568
職場の上司	32,581	34,211	36,429	47,778	30,909	27,500	36,610	32,400	32,605	37,505
職場の同僚	30,444	40,721	30,909	30,000	29,565	30,000	28,462	26,795	27,740	31,696
職場の部下	26,923	31,667	30,000	32,222	28,750	28,000	30,811	35,833	27,335	34,921
取引先	17,500	30,000	30,000	-	30,000	-	27,143	30,000	30,580	28,611
友人	31,831	31,678	37,647	30,703	34,744	30,789	30,371	31,474	29,375	30,960
その他	95,000	126,207	27,778	141,905	213,000	132,500	102,439	132,091	111,767	130,250

(3) 年代別の祝儀(最多回答額と平均額)

下表は、年代別・新郎新婦との関係別の祝儀の最多回答額と平均額です。

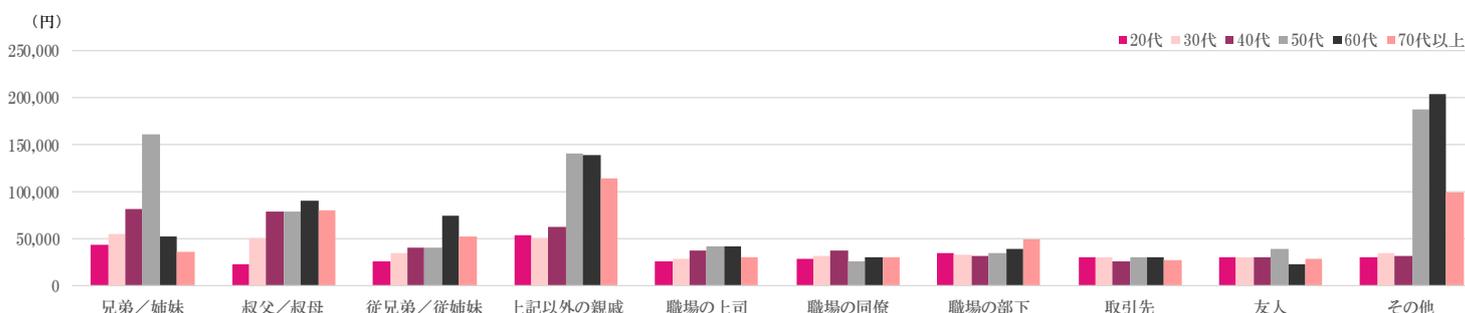
親戚関係についてみると、例えば、叔父/叔母の最多回答額は、20代が3万円、30~40代が5万円、50代以上が10万円となっているなど、年代が高くなるにつれて祝儀額も高額になる傾向が見られます。

また、職場関係、友人の最多回答額は、年代に関わらず3万円が最多回答額となっていますが、平均額については年代が高いほど高くなる傾向が見られます。年代に関わらず3万円が相場であるものの、年齢が高い人ほど高額な祝儀を贈る人が多くなることが背景にあることが伺えます。

[単位:円]

	20代			30代			40代			50代			60代			70代以上		
	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額	n数	最多回答額	平均額
兄弟/姉妹	78	50,000	43,891	88	30,000	54,920	40	30,000/50,000/100,000	82,375	9	100,000	161,111	3	10,000/50,000/100,000	53,333	3	30,000	36,667
叔父/叔母	14	30,000	23,571	6	50,000	51,667	30	50,000	79,037	152	100,000	79,039	158	100,000	91,297	88	50,000	80,909
従兄弟/従姉妹	86	30,000	26,081	42	30,000	34,405	42	30,000	40,714	15	30,000/50,000	41,000	8	50,000	75,000	4	30,000	52,500
上記以外の親戚	26	30,000	54,231	19	50,000	51,053	20	50,000	62,750	77	100,000	141,104	117	100,000	138,632	70	100,000	113,714
職場の上司	19	30,000	26,228	22	30,000	29,318	44	30,000	37,955	56	30,000	42,857	20	30,000	42,000	2	30,000	30,000
職場の同僚	71	30,000	29,667	94	30,000	32,085	60	30,000	37,333	35	30,000	25,543	13	30,000	30,769	2	30,000	30,000
職場の部下	12	30,000	34,833	19	30,000	34,211	27	30,000	31,852	17	30,000	34,706	11	30,000/50,000	40,000	3	30,000/30,000/100,000	50,000
取引先	5	30,000	30,000	1	30,000	30,000	4	30,000	26,250	2	30,000	30,000	2	30,000	30,000	4	30,000	27,500
友人	586	30,000	30,847	417	30,000	30,892	115	30,000	30,530	46	30,000	38,696	23	30,000	23,043	13	30,000	28,692
その他	23	30,000	31,227	19	30,000	35,263	20	30,000	32,750	52	30,000	188,288	53	100,000	204,245	30	100,000	100,000
計	920	30,000	31,928	727	30,000	35,008	402	30,000	43,960	461	30,000	87,763	408	100,000	109,069	219	100,000	87,457

年代別新郎新婦との関係別祝儀の平均額



◎祝儀平均額(前回調査との比較)

年代別・新郎新婦との関係別の祝儀平均額について、前回調査(平成29年)と今回調査(令和5年)を比較すると下表の通りとなります。

一般的に親戚関係は、年代が高いほど祝儀の金額が高くなる傾向は前回調査と変わっていないようです。

職場関係や友人でみると、ほとんどの年代で祝儀の平均額は前回調査から高くなっています。特に、40代の職場の上司、同僚、50代の友人、60代の職場の上司の平均額は前回調査よりも5,000円以上高くなっています。

[単位:円]

	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年	平成29年	令和5年
兄弟/姉妹	37,857	43,891	60,132	54,920	70,294	82,375	45,000	161,111	102,500	53,333	-	36,667
叔父/叔母	57,500	23,571	27,500	51,667	62,432	79,037	75,122	79,039	73,248	91,297	-	80,909
従兄弟/従姉妹	34,441	26,081	36,017	34,405	42,596	40,714	52,667	41,000	47,143	75,000	-	52,500
上記以外の親戚	17,143	54,231	32,222	51,053	42,088	62,750	53,023	141,104	76,094	138,632	-	113,714
職場の上司	28,000	26,228	29,130	29,318	32,554	37,955	40,677	42,857	33,571	42,000	-	30,000
職場の同僚	29,021	29,667	29,038	32,085	27,396	37,333	27,643	25,543	27,083	30,769	-	30,000
職場の部下	27,730	34,833	27,600	34,211	32,424	31,852	26,563	34,706	28,889	40,000	-	50,000
取引先	30,000	30,000	36,667	30,000	23,750	26,250	28,333	30,000	34,000	30,000	-	27,500
友人	29,435	30,847	29,109	30,892	30,457	30,530	32,907	38,696	30,769	23,043	-	28,692
その他	22,222	31,227	17,500	35,263	49,762	32,750	93,706	188,288	123,261	204,245	-	100,000

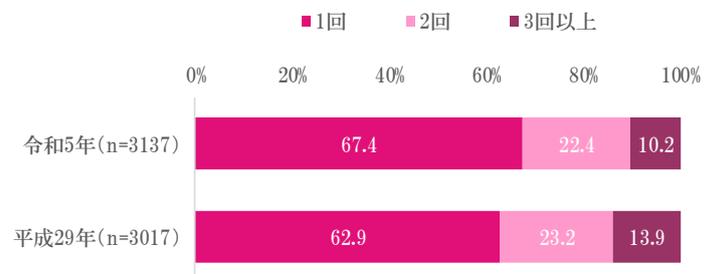
※前回調査(平成29年)は、60代と70代以上を「60代以上」として集計

2. あなたは、この1年間で何回挙式もしくは披露宴に参列されましたか？

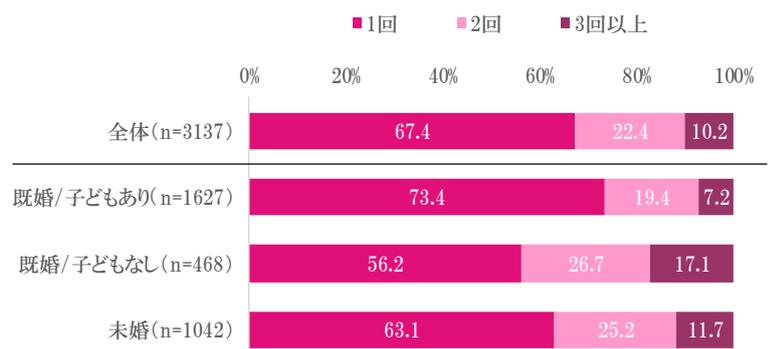
この1年間で挙式・披露宴に参列した回数は、「1回」が67%、「2回」が22%、「3回以上」が10%となりました。

前回調査(平成29年)と今回調査(令和5年)を比較すると、「1回」の比率が63%→67%と5ポイント増加しています。挙式・披露宴をあげる件数が減少している傾向が伺えます。

この1年間の挙式・披露宴参列回数
(前回調査との比較)



この1年間の挙式・披露宴参列回数
(未既婚別)



この1年間で挙式・披露宴に参列した回数について、既婚(子どもの有無)/未婚別で比較すると右のグラフの通りとなります。

既婚、未婚に関わらず「1回」の比率が高くなっていますが、特に既婚/子どもありの方の「1回」の比率が他と比較して高くなっています。

2. あなたは、この1年間で何回挙式もしくは披露宴に参列されましたか？(続き)

この1年間で挙式・披露宴に参列した回数について、性別で比較すると右のグラフの通りとなります。性別によって、参列した回数の傾向に違いは見られません。

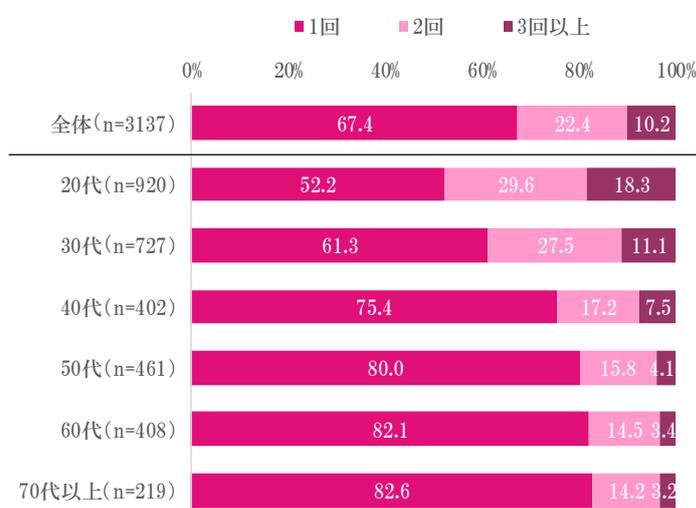
この1年間の挙式・披露宴参列回数
(性別)



この1年間で挙式・披露宴に参列した回数について、年代別で比較すると右のグラフの通りとなります。

参列回数は、20代が最も多く、30代、40代の順になっているなど、年代が若い人ほど参列回数が多い傾向が見られます。ただし、50代以上になると参列回数に差は見られません。

この1年間の挙式・披露宴参列回数
(年代別)

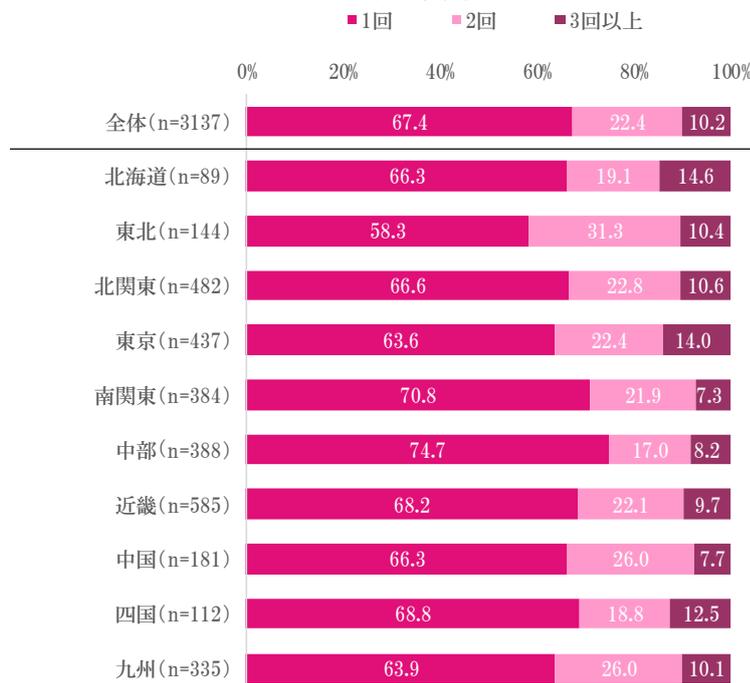


この1年間で挙式・披露宴に参列した回数について、地域別で比較すると右のグラフの通りとなります。

いずれの地域も「1回」の比率が突出している傾向に差は見られませんが、参列回数が「1回」の比率が最も小さいのは東北で58%を占めています。すなわち、東北は挙式・披露宴に2回以上参列している人が最も多い地域となっています。

一方で、南関東と中部では、「1回」が70%強となっており、東北とは10ポイント以上の差が見られます。

この1年間の挙式・披露宴参列回数
(地域別)



3. あなたは六輝を気にしていますか？

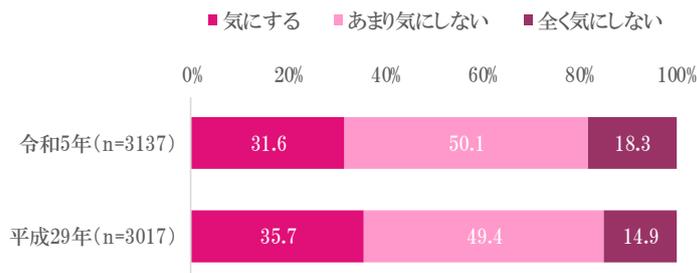
六輝は、古代中国の陰陽五行説に基づく6つの日のことで、吉凶を定める基準と言われてます。今でも、カレンダーに「先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口」といった六輝が表記され、冠婚葬祭の日取りを決める際に、参考にされることがあります。

今回調査（令和5年）は、「気にする」が32%、「あまり気にしない」が50%、「全く気にしない」が18%となりました。「あまり気にしない」と「全く気にしない」を合わせると68%の人が六輝を「気にしていない」という結果となりました。

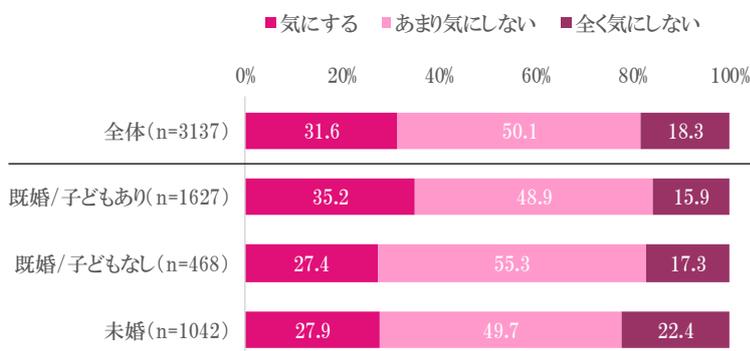
六輝を気にするか否かについて、前回調査（平成29年）と今回調査（令和5年）を比較すると、「気にする」人の割合が36%→32%と4ポイント減少し、「全く気にしない」人の割合が15%→18%と3ポイント増加しています。

わずかではありますが、六輝を「気にしない」人が増えている様子が伺えます。

六輝を気にしているか
（前回調査との比較）



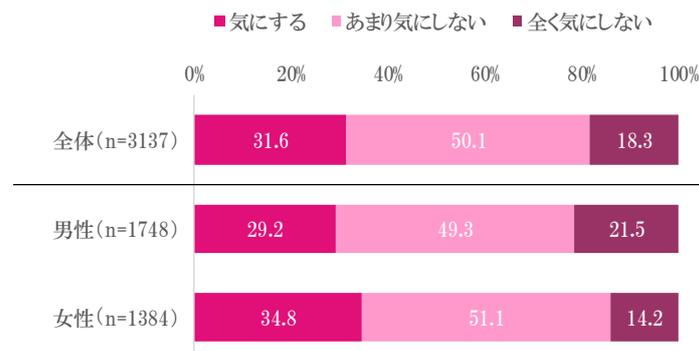
六輝を気にしているか
（未既婚別）



六輝を気にするか否かについて、既婚（子どもの有無）/未婚別で比較すると右のグラフの通りとなります。

既婚、未婚に関わらず「気にしない」人の比率が高くなっていますが、既婚/子どもありの人は、既婚/子どもなしや未婚の人と比べると「気にする」人の割合が高い傾向が見られます。

六輝を気にしているか
（性別）



六輝を気にするか否かについて、性別で比較すると右のグラフの通りとなります。

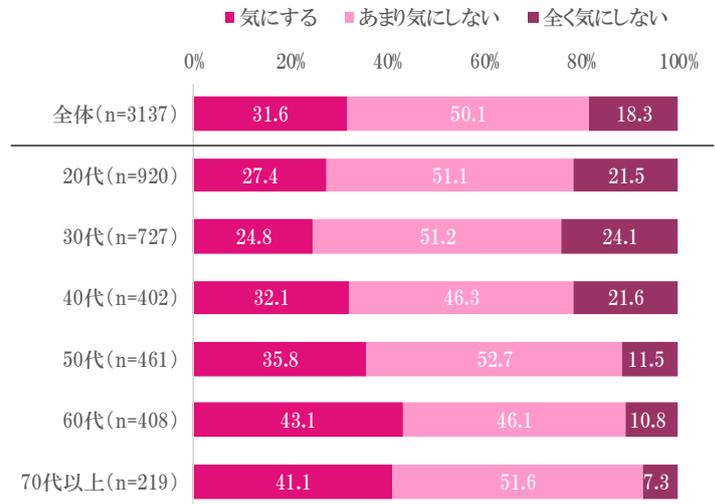
「気にする」人の割合は、男性が29%、女性が35%となっており、男性の方が六輝を「気にしない」人の割合がやや高い傾向が見られます。

3. あなたは六輝を気にしていますか？(続き)

六輝を気にするか否かについて、年代別で比較すると右のグラフの通りとなります。

「気にする」人の割合は、20代～30代（20%台）、40代～50代（30%台）、60代以上（40%台）となっており、年代が高い層ほど「気にする」人の割合が高い傾向が見られます。

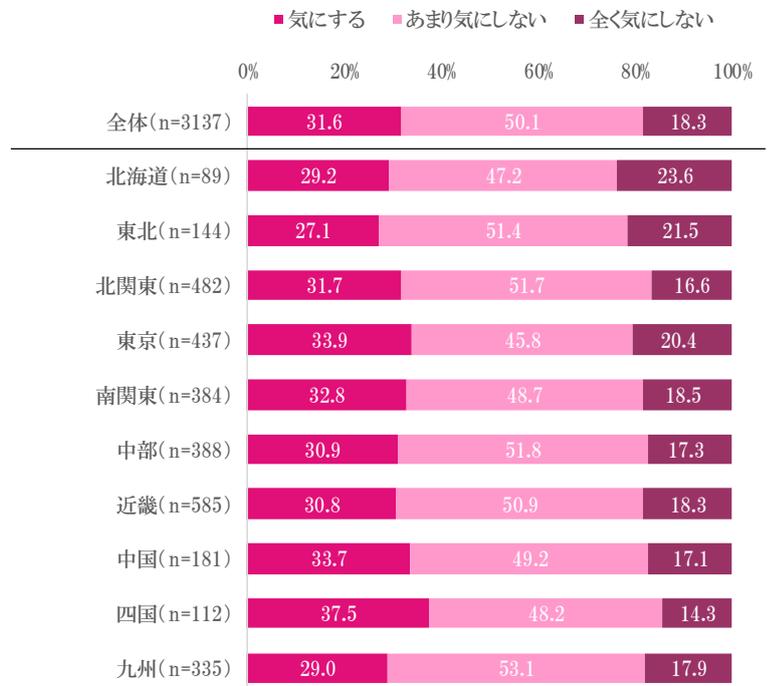
六輝を気にしているか
(年代別)



六輝を気にするか否かについて、地域別で比較すると右のグラフの通りとなります。

いずれの地域も「気にする」人の割合は3割前後を占めており、あまり地域による差は見られませんが、強いてあげると、四国は「気にする」人の割合が38%を占めており、他の地域と比べると若干高くなっています。

六輝を気にしているか
(地域別)



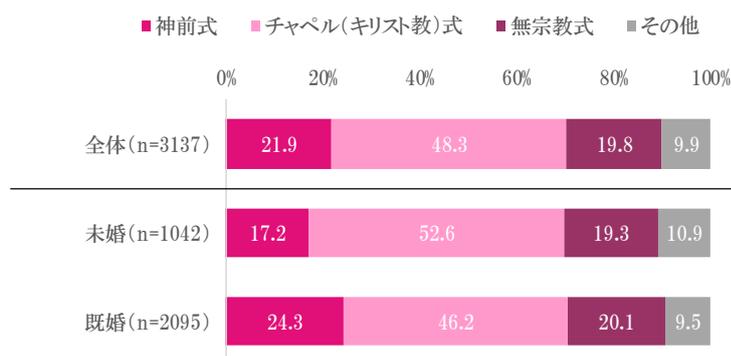
4. あなたが希望する挙式形態は？

挙式形態の希望の変遷は、ブライダルの流れやトレンドを見るうえで大切な要素と考えられます。本調査は、挙式・披露宴に出席した人を対象に行ったもので、既婚者にもご回答頂きました。年齢を見ても20代～70代以上と幅広く、未婚者の場合は挙式をするとした場合の希望する挙式形態、既婚者の場合も現在の希望として回答いただいています。

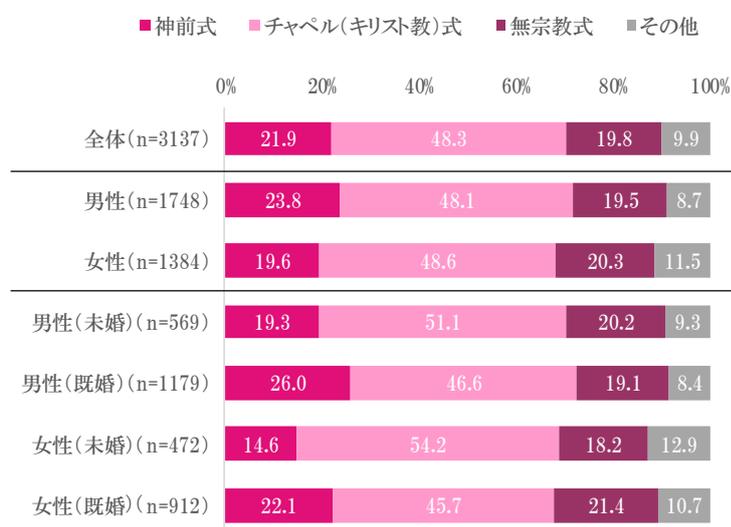
結果は、「チャペル（キリスト教）式」が48%で最も高く、次いで、「神前式」（22%）、「無宗教式」（19%）と続いています。

希望する挙式形態について、未婚／既婚別でみると、未婚・既婚に関わらず「チャペル（キリスト教式）」の比率が5割前後を占めており多数を占めています。ただし、既婚者は「神前式」が24%を占めており、未婚者（17%）よりも高く、未婚者は既婚者と比べて「チャペル（キリスト教）式」の比率がやや高いなど、若干の傾向の違いが見られます。

希望する挙式形式
(未既婚別)



希望する挙式形態
(性別)



希望する挙式形態について性別でみると、男性・女性とも「チャペル（キリスト教）式」の比率が5割弱を占めていますが、男性（特に既婚）の方が女性と比較して「神前式」を希望する人の割合が高くなっています。

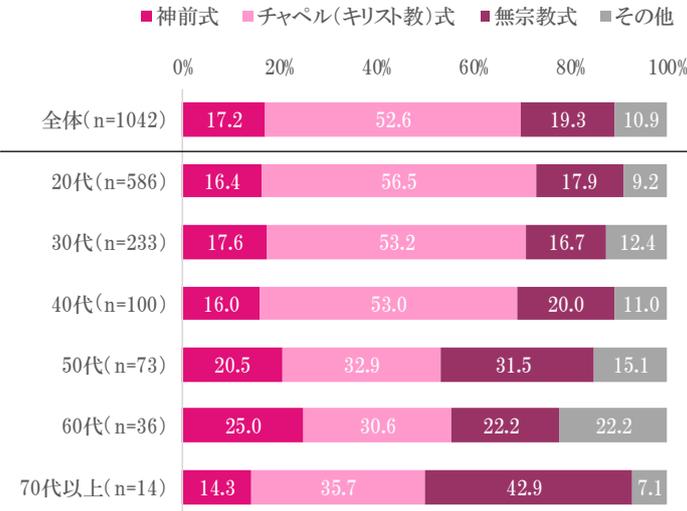
なお、前述の通り、既婚者は未婚者よりも「神前式」を希望する人の比率が高くなっていますが、これは男女とも共通した傾向と言えます。

4. あなたが希望する挙式形態は？(続き)

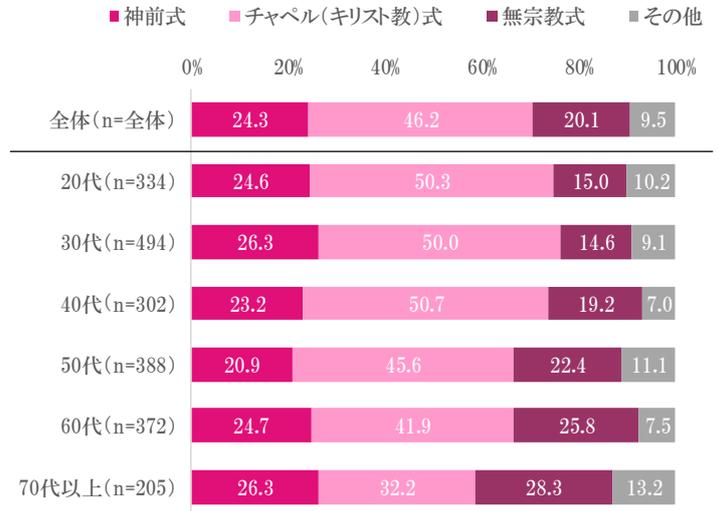
希望する挙式形態について、未婚者の年代別、既婚者の年代別についてそれぞれ集計しました。

未婚者、既婚者とも50代以上では「無宗教式」の割合が20代~40代の人と比べて高い傾向が見られます。また、未婚者の50代~60代は「神前式」が2割以上を占めており他の年代と比較して高く、「チャペル式（キリスト教式）」が3割強にとどまるなど、20代~40代と大きく傾向が異なっています。

希望する挙式形式
(年代別：未婚)



希望する挙式形式
(年代別：既婚)

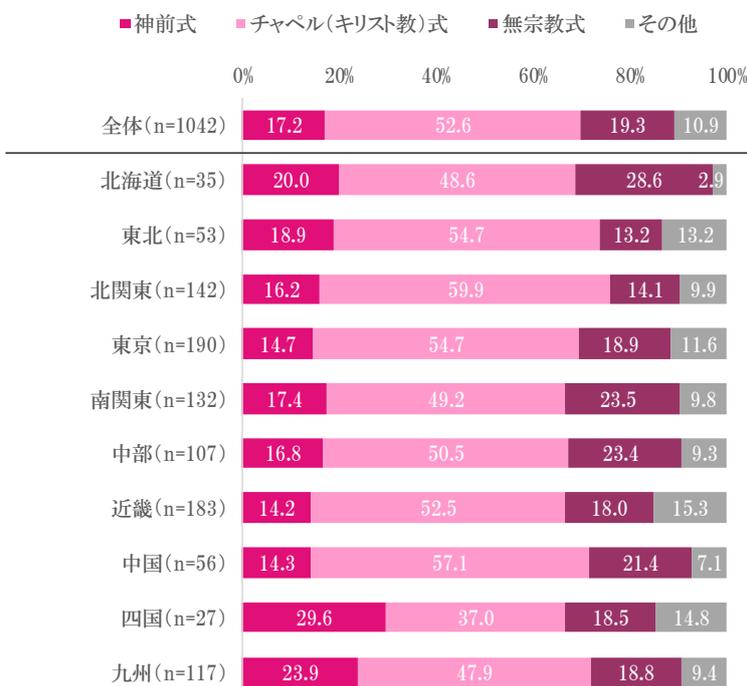


希望する挙式形態について、未婚者の地域別、既婚者の地域別についてそれぞれ集計しました。

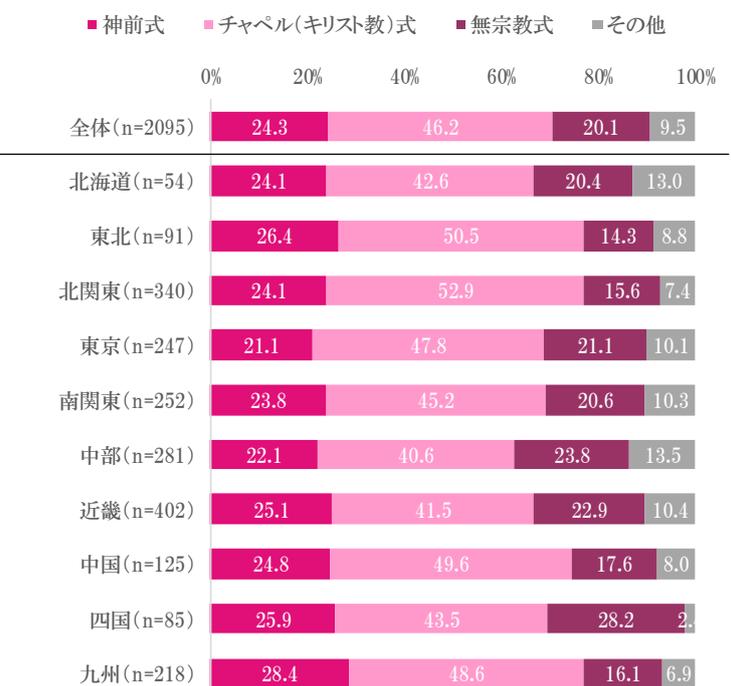
未婚者の地域別の傾向をみると、いずれの地域も「チャペル式（キリスト教式）」が最も高くなっていますが、北海道の「無宗教式」（29%）、四国の「神前式」（30%）の割合が他地域と比較すると高い特徴があります。

既婚者の地域別の傾向をみると、未婚者の場合と同様に、いずれの地域も「チャペル式（キリスト教式）」が最も高くなっていますが、四国の「無宗教式」が28%と、他地域と比較してやや高くなっています。

希望する挙式形式
(地域別：未婚)



希望する挙式形式
(地域別：既婚)



第6回

婚礼に関するアンケート調査 調査報告書(令和5年度実施)

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
広報・渉外委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-12 COMS虎ノ門6階

Tel : 03-3596-0061

<https://www.zengokyo.or.jp>